

実り 5月号 ②



整美委員のチャレンジ！

3年生の階では個人ロッカーが廊下に並んでいるので、皆の荷物が乱雑に置かれると、廊下全体がなんとなく雑然とした感じになります。年度初めは、木本先生と河村先生が気付いたところを整頓して回っていたのですが、やはり、自分の荷物くらいは自分で整頓するようにしていきたいと思い、整美委員に話を持ち掛けました。



学校生活での日常的な課題は、なるべく委員や係の子ども達に持ち掛けるようにしています。例えばこのロッカーの整頓も、担任が指導し、毎朝各自で整えさせる時間をとれば解決は早いのかもかもしれませんが、それでも、よほどの課題でない限りは生徒の中のリーダーに解決を任せてみます。

生徒の中のリーダーとは、全ての委員や係のことで、例えば、環境整備の分野では整美委員が学級の中の一番のリーダーであり、整美委員長は全校生徒の中でトップの立場にあります。同じように、全ての委員や係は、自分の持ち場では学級一の（あるいは学年、全校で一番の）リーダーになります。

以前、みたらいノート係に、学級のみたらいノートを全員提出させてほしいと頼んだことがあります。みたらいノートを毎日提出させることは、家庭学習を習慣づける第一歩として大切なことだと考えています。その分野では、みたらいノート係が学級のリーダーです。けれども、少しばかり呼びかけるくらいでは、全員提出は叶いません。係の子たちは協力しながら、毎朝チェックし、未提出者には個別に呼びかけ、全体の提出状況を短学活で小まめに発表して皆の意識を高めるなど工夫と苦勞を重ねながら、ついに全員提出を達成しました。家庭学習の習慣づけの上でも嬉しいことですが、リーダーシップをとった係の子たちにとって、課題解決に向けて試行錯誤しながら達成できた経験は、貴重なものになったと思います。もちろん、いつもうまくいくとは限りませんが、できる限り多くの生徒に、リーダーとして何かしら課題の解決に向けて粘り強く取り組む経験をもたせたいと思っています。

さて、整美委員の取組です。まずは、たくさんのカバンの紐が垂れさがっているのを整えることから始めることにしました。委員の皆で相談した結果、学級で呼びかけ、それでも乱れていたなら自分たちが整えようと決めたそうです。また、整美委員長は帰りの伝達放送で、「自分のカバンの紐だけでなく、気付いたら周りの紐も積極的に整えて。」と学年に呼びかけました。整美委員のチャレンジは始まったばかりです。彼らの頑張りに、学年の皆がフォロワーとなり、ついていってくれることを期待しています。

新聞委員会の「鯉のぼり」

頑張っているのは、整美委員やみたらいノート係だけではありません。今月は、3階の廊下に全長3mの「鯉のぼり」が出現しました。新聞委員会の企画です。よく見ると、うろこの一枚一枚



に1年生たちの願い事などが書かれています。また、うろこだけ

でなく、中央階段の踊り場の掲示板にも、3年生、2年生の願い事が小さな「鯉のぼり」に書き込まれて、掲示されています。今年の委員長たちが、昨年までを超える学級新聞や校内掲示に取り組もうと頑張っています。

18日（木）の参観日・部活動懇談会の時にもまだ掲示してありますので、ぜひ、鯉のぼりたちと、書き込まれた願い事をご覧ください。

